

ジュノハート販売戦略は

弘大・石塚教授 調査結果基に助言



ジュノハートの販売戦略を
講演する石塚浩史教授

今年気象傾向やジュノハートの販売戦略、鳥獣被害対策に関する研究に耳を傾け、実業に生かせる新たな

南部町は28日、楽楽ホールで本年度の農業講演会を開き、町民ら約100人が

南部

弘前大農学生命科学部の石塚浩史教授は「ジュノハートの購買行動と消費者意識の現段階」と題し講演。3年間の調査結果を基に、「ジュノハートの認知度は非常に高く、『粒が大きい』『値段が高い』という特長も分かっている」「果実全体では高齢者の消費が多いが、ジュノハートは若年層の興味・関心が高い」と分析した。

その上で、「ネガティブな情報が知れ渡っても多くの購入希望があり、高付加価値果実としてのブランド化に向けた展開が期待できる」「この状況を可能な限り長期間維持することが重要」などと訴えた。

（熊合勝之）

この画像は、当該ページに限って“デーリー東北”が利用を許諾したものです。無断転載はできません。